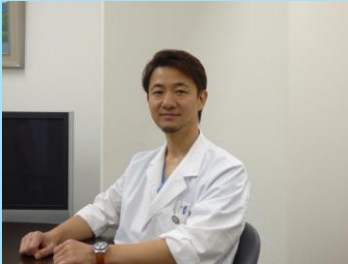




## 教育担当医の声



内視鏡室長 森本先生

E-mail  
morimoto.kpu@gmail.com

消化器内科プログラムでは、主に消化器系の入院患者を担当しながら、消化器系手技の習得をまんべんなく行っていただきます。当科は消化管から肝臓まで大学など先進医療施設で経験を積んだ各領域の専門家が揃っており、中規模病院ながら高度な医療水準にも対応できる病院です。若い先生方の充実した研修のために最も重要なことは高いモチベーションの維持だと思います。いくら大病院で研修を受けていてもライバルが多すぎる環境では、手技や臨床経験が不足しがちで机上の勉強やシミュレーションに頼らざるを得ない実情があります。当科は後期研修医が少数であるからこそ、早い段階から即戦力としてたくさんの症例や技術を経験して頂けますので、より実践的にスキルアップしやすい環境です。若手の活気に我々中堅医師も感化されますし、共に学ぶことで日々の臨床水準が保てますので、一度見学にいらして下さい。活気のある病院を一緒に作っていきましょう。

## 研修プログラム基本情報

### 研修期間

1～3年（年数の選択可）

### プログラム概要

（1）消化器内科・スペシャリティー研修  
 外来診療・救急外来と消化器系入院患者の担当医となり、一般的な消化器疾患の診療・患者管理・手技の基礎的な能力を習得する。  
 基礎的な能力を習得したのち、希望に応じて消化器管領域・肝胆膵領域といった専門分野への特化や重点強化項目を絞って消化器内科医として自立する。

（2）消化器内科・サブスペシャリティー研修  
 総合診療や一般内科として内科診療の基礎を幅広く習得しながら、指導医のバックアップのもと、主治医として消化器系入院患者を担当し、消化器系手技の習得を目指す。（それぞれの希望や目標に準じて、重点項目を相談の上で決定）

### 経験できる手技

腹部超音波検査、上下部内視鏡検査、X線造影検査、内視鏡的止血術、ERCP、静脈瘤硬化療法、ESD(粘膜下層剥離術)、腹部血管造影検査、超音波ガイド下穿刺(胆嚢胆管ドレナージ、肝生検、腫瘍生検、肝臓がん治療)など

### 経験目標件数

(現在研修中の後期研修医の例 卒後3年目～5年目の3年間での達成目安)

上部内視鏡	1200例	内視鏡的止血術	50例
下部内視鏡	600例	ESD	25例
ERCP	150例	腹部血管造影検査	30例
超音波穿刺ドレナージ	30例	肝臓がん治療	30例

### 取得可能な専門医資格

日本内科学会認定内科医(現行)、日本消化器病学会専門医  
 日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化管学会認定胃腸科専門医

## 指導体制・医師紹介

氏名	職名	卒年	資格等	専門領域
中島 智樹	部長	S63	日本内科学会認定総合内科専門医 日本消化器病学会認定消化器病専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 インфекションコントロールドクター (ICD)	総合診療、内科全般、 特に肝臓
山岡 純子	副部長	H10	日本肝臓学会認定肝臓専門医	肝臓、消化器全般
飯田 貴弥	副部長	H12	日本内科学会認定総合内科専門医 日本消化器病学会認定消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本消化管学会認定胃腸科専門医 日本カプセル内視鏡学会認定医	消化管、消化器全般
森本 泰隆	内視鏡室長	H14	日本消化器病学会認定消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 インフェクションコントロールドクター (ICD)	消化管、消化器全般
渋谷 明子	医員	H10	日本内科学会認定総合内科専門医 日本消化器病学会認定消化器病専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医	肝臓、消化器全般
信田 みすみ	医員	H14	日本消化器病学会認定消化器病専門医	消化器全般
下村 考史	後期研修医	H25		消化管、消化器全般
上田 桃子	後期研修医	H26		内科全般
(常勤顧問)				
中嶋 俊彰	支部長	S49	日本消化器病学会認定施設指導医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医	肝臓、消化器全般
大石 亨	顧問	S55		消化管、消化器全般
(非常勤医師)	若干名			

## 手術・検査実績概算(28年度)

術・検査名	件数	術・検査名	件数
上部消化管内視鏡検査	3200	腹部超音波検査	2500
下部消化管内視鏡検査 (EMR 含む)	1200	腹部超音波関連治療	60
ERCP	150	腹部超音波穿刺ドレナージ	30
ESD (粘膜下層剥離術)	30	腹部血管造影検査	35

### 後期研修3年目 下村先生



全体の症例数として決して多い病院ではないですが、何でもやりたい事のできる環境なので、決して症例に困ることはありません。また一般内科としてのスキルを身につける機会もたくさんあり、バックアップもして頂けるので、色々なことを学べます。

### 症例数実績 (2年間)

上部内視鏡	1200 例
下部内視鏡	600 例
ERCP	100 例
内視鏡的止血術	50 例
ESD	15 例

## 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	上部内視鏡検査	救急担当	上部内視鏡検査	腹部超音波検査	外来
午後	下部内視鏡検査・ERCP	ESD・下部内視鏡検査	下部内視鏡検査・ERCP	ESD・下部内視鏡検査	下部内視鏡検査・ERCP
夕方	消化器内科カンファレンス	内科症例検討会		内視鏡カンファレンスなど	

消化器管グループ、肝疾患グループに分かれ、ランチタイムを利用して週1回程度の専門カンファレンスあり